

令和7年10月1日

関係機関・団体の長 様

新潟県病虫害防除所長

新潟県病虫害発生予察情報・予報第8号の送付について

このことについて、別添のとおり発表しましたので、業務の参考としてください。

なお、この情報は、「新潟県病虫害防除所」のホームページでも閲覧できますので、適宜御活用ください。

新潟県病虫害防除所 電 話：0258-35-0867 F A X：0258-35-7445

令和7年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第8号
(10月の発生予想)

令和7年10月1日

【作物名】 病害虫名	予報内容 発生量：平年比 発生程度：	予報の根拠
---------------	--------------------------	-------

【夏秋きゅうり】

べと病	量：やや少ない 程度：少発生 (発病葉率1~25%)	① 9月下旬の発生は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
うどんこ病	量：少ない 程度：中発生 (発病葉率26~50%)	① 9月下旬の発生量は平年比少ない。(－) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
褐斑病	量：並 程度：少発生 (発病葉率1~5%)	① 9月下旬の発生量は平年並。(±) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
コナジラミ類	量：やや多い 程度：少発生 (成虫寄生葉率 1~30%)	① 9月下旬の発生量は近年並。(±) ② 向こう1か月の気温は高いと予想されている。(＋)
アザミウマ類	量：やや多い 程度：少発生 (寄生葉率1~5%)	① 9月下旬の発生は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は高いと予想されている。(＋)
ハモグリバエ類	量：やや多い 程度：少発生 (被害株率1~25%)	① 9月下旬の発生量は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は高いと予想されている。(＋)
ワタヘリクロノメイガ (ウリノメイガ)	量：多い 程度：少発生 (寄生株率1~20%)	① 9月下旬の発生量は平年比多い。(＋) ② 向こう1か月の気温は高いと予想されている。(＋)

【秋冬だいこん】

べと病	量：並 程度：少発生 (発病度1~15)	① 9月下旬の発生は未確認で平年並。(±) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
黒斑細菌病	量：やや少ない 程度：少発生 (発病度1~15)	① 9月下旬の発生は未確認で平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
白さび病	量：並 程度：少発生 (発病株率1~20%)	① 9月下旬の発生は未確認で平年並。(±) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
アブラムシ類	量：やや少ない 程度：少発生 (発生程度指数1~50)	① 9月下旬の発生は未確認で平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)

【作物名】 病害虫名	予報内容 発生量：平年比 発生程度：	予報の根拠
---------------	--------------------------	-------

【秋冬だいこん】 つづき

コナガ	量：やや多い 程度：少発生 (寄生株率 1~10%)	① 9月下旬の発生は未確認で平年並。(±) ② フェロモントラップの誘殺数は多い。(+) ③ 向こう1か月の気温は平年比高く(+)、降水量はほぼ平年並(±)と予想されている。
-----	----------------------------------	---

【秋冬ねぎ】

さび病	量：並 程度：少発生 (発病度 1~5)	① 9月下旬の発生は平年並。(±) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
黒斑病・葉枯病	量：やや少ない 程度：少発生 (発病度 1~20)	① 9月下旬の発生量は平年比やや少ない。(－) ② 向こう1か月の降水量はほぼ平年並と予想されている。(±)
軟腐病	量：並 程度：少発生 (発病株率 1~5%)	① 9月下旬の発生は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は高く(+)、降水量はほぼ平年並(±)と予想されている。
ネギハモグリバエ	量：やや少ない 程度：少発生 (被害度 1~10)	① 9月下旬の発生量は平年比少ない。(－) ② 向こう1か月の気温は高いと予想されている。(＋)
ネギアザミウマ	量：やや多い 程度：多発生 (被害度 21~30)	① 9月下旬の発生量は平年比やや少ないが(－)、甚発生のお場も見られる(＋)。 ② 向こう1か月の気温は高いと予想されている。(＋)
シロイチモジヨトウ	量：多い 程度：中発生 (被害株率 11~20%)	① 9月下旬の発生量は平年並であるが(±)、多発生のお場も見られる。(＋) ② フェロモントラップ誘殺数は平年比多い。(＋) ③ 向こう1か月の気温は高いと予想されている。(＋)

【その他】

【野菜・花き類全般】 オオタバコガ	量：多い	① フェロモントラップの誘殺数は平年比多い。(＋) ② 向こう1か月の気温は高く(+)、降水量はほぼ平年並(±)と予想されている。
【果樹・野菜・花き類全般】 ハスモンヨトウ	量：やや多い	① フェロモントラップの誘殺数は平年並。(±) ② 向こう1か月の気温は高く(+)、降水量はほぼ平年並(±)と予想されている。

～ 防除上の注意事項は、最新の「新潟県農作物病害虫雑草防除指針」を参照してください ～

注1：①「予報内容」の発生量は、予想される発生量が、新潟県における平年の発生量に比べて多いか少ないかを、少、やや少、並、やや多、多の5段階で表記しています。

②発生程度は、予想される発生量が、国の調査実施基準等で定められている、無発生、少発生、中発生、多発生、甚発生のいずれに該当するかを表記しています。

注2： 「予報の根拠」の、（+）は発生量を増加させる要因、（-）は発生量を減少させる要因、（±）はどちらともいえない要因を示しています。

～ 農薬は適正に使用しましょう ～

- 農薬の準備・使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認しましょう。
- 使用に際しては、ラベルに記載の使用基準や注意事項をよく読み、使用者が責任を持って使いましょう。
- 農薬の飛散防止に努めましょう。周辺作物や住宅及びミツバチ等への危害防止のため、周辺の生産者や住民、養蜂業者に事前に防除計画を通知するなどの対策をとりましょう。
- 農薬の使用後は防除日誌や作業日誌等の記帳に努めましょう。
- 水田で湛水して農薬を散布する場合は、処理後7日間の止水を厳守し、落水しないようにしましょう。

【参考】北陸地方 1か月予報（9月27日から10月26日までの天候見通し）

（新潟地方气象台：令和7年9月25日発表）

＜予想される向こう1か月の天候＞

6月中旬以降、暖かい空気に覆われ、気温のかなり高い状態が続いています。向こう1か月も、暖かい空気に覆われやすいため、気温の高い状態が続くでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。

2週目は、高い確率80%です。

3～4週目は、高い確率70%です。

＜向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率（%）＞

	低い（少ない）	平年並	高い（多い）
気 温	10	10	80
降 水 量	40	30	30
日照時間	30	30	40

＜気温経過の各階級の確率（%）＞

	低い	平年並	高い
1週目（9月27日～10月3日）	10	10	80
2週目（10月4日～10月10日）	10	10	80
3～4週目（10月11日～10月24日）	10	20	70